

研究成果を 千葉大から世界へ

千葉大学学術成果リポジトリ



研究成果の
保存と発信のために

<http://mitizane.LL.chiba-u.jp/curator/>

千葉大学



千葉大学学術成果リポジトリ CURATOR

CURATORは、大学において生み出された学術研究成果(学術論文、プレプリント、テクニカルレポート、学位論文、会議発表資料等)を電子的に保存し学内外に公開する、インターネット上の発信拠点＝機関リポジトリです。

2005年に国内で最初の機関リポジトリとして正式運用を開始しました。

CURATORの効果とは

研究成果の影響力(インパクト)向上

CURATORは、OAI-PMH(メタデータ収集の標準プロトコル)に準拠しています。そのためCURATORに登録された研究成果は世界中のメタデータを収集するサービスプロバイダに収集され、効果的に世界に発信されます。

また、Googleなどの検索サービスのほか、Web上の学術情報を検索するScirusに搭載され、Scopus(論文検索DB)からも検索される予定です。このような検索サービスとのコラボレーションにより、さらに検索可能性や可視性が高まるよう努力を続けていきます。

研究成果の恒久保存

電子化された研究成果は、附属図書館によりメタデータを付与され、CURATORに恒久的に保存されます。そのため、各自のPCあるいはサーバに保管する必要がなくなります。

CUFA(業績DB)との連携

千葉大学の業績DB(CUFA)と連携により、より効率的な研究成果の収集・発信を進めていきます。

社会貢献・産学連携

一般の人々の目の届かないところにあった研究成果を、より広く社会へ公開し、地域の学術・教育・産業の活性化に貢献します。

国内外の研究者・企業・学生etc

世界中の検索サービス
Yahoo
Google

OAIster
Scopus Scirus

OPEN ACCESS

世界に発信

千葉大学研究成果
ショーウィンドウ

CURATOR

CUFA
千葉大
業績DB

連携

研究成果
登録

千葉大学の
(または過去に在籍した)
研究者

研究成果登録についてのお問い合わせ

附属図書館情報管理課 リポジトリ(CURATOR)担当

雑誌・電子情報係 043-290-2253(内2253)

joho@LL.chiba-u.ac.jp

<http://mitizane.LL.chiba-u.jp/curator>